

生活文化学科 生活心理専攻の学び

"FUTURE LEADERS SHAPING FAMILY AND SOCIETY"

生活文化学科では「人の生涯にわたる発達」へのまなざしをもって生活を探求します。特に、生活心理専攻では、「人」の生涯を包括的に捉え、誕生から死、世代継承といったライフステージ全般に関するバランスのとれた学びをふまえ、「人」が生活する「**家族**」「**社会**」および**心身両面の「健康」**に関する分析・考察を行います。また、家庭にかかわる教育に必要なとなる心理学の「**基礎**」を身につけて、「人」と生活のかかわりや保育・教育について探求を行い、**特色ある家庭科教諭**や**企業人、心理・福祉職**を社会に送り出します。



学びの一例 大学と社会をつなぐ 「生活心理演習」

レジリエンス力（折れない心のつくりかた）、女性と労働法、グローバルコミュニケーション、日本文化(装道、茶道、華道)、テーブルマナー(ホテル椿山荘東京)、国際的企業で活躍できるためのパーティーの開き方など。

日本文化（装道、茶道、華道）



テーブルマナー(ホテル椿山荘東京)



4年間の学びによって、一般企業（データ収集・管理、調査分析アシストなど）、公務員（一般職）、家庭科教諭、NPO、福祉施設（児童、高齢者）など、多様な進路を可能にする専門性を身につけ、それらの専門領域での就職が可能となります。そして、生活心理専攻の心理学教育を通して、主体的な人生構築のベースをつくり、生涯を生きていく力を培うことで、**"FUTURE LEADERS SHAPING FAMILY AND SOCIETY"** を可能にし、**人間の労働がAIやロボットと競合する時代を生き抜く力を身につけることができます。**

パーティーの開き方（学生による企画・運営）



内定先

株式会社コーセー

明治安田生命保険相互会社

株式会社福島銀行

横浜信用金庫

独立行政法人国立病院機構

山梨県厚生連健康管理センター

上野原市役所、羽村市役所

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団、大学院、留学、教員(任用) など

